

## 空間情報の利活用・市民生活向上のための情報提供手法の研究

情報科学研究科/社会情報科学部 川向 肇



### キーワード

空間情報、地理情報システム、オープンデータ、防災情報

### 研究概要

現在様々な空間情報が政府機関、自治体から多数機械可読可能な形で、提供され始めている。より具体的には、地理院タイルやShapeファイルあるいは、GeoJsonファイルなど、様々な形式が併存しており、利用できるデータ数は増えてきている。

DXが着目され、データの蓄積及び提供は進むものの、それが利用され、人々や組織の社会的行動が変容しているかという、その面での進展は、それほど進んでいるわけではない。

本研究室では、社会に様々な形で提供されているデータを収集し、それを空間的に解析し、人々が理解可能なスタイルで地理情報システムなども活用しつつ提供することで、人々や組織の行動変容がどのように起きるのか、その行動変容を起こすためにどのような形式で取り組むことが望ましいのか、ということを検討している。具体的には、地理院タイルや政府の様々な機関、各自治体から提供されている空間的データを総合的に利用することで、空間理解の拡充と人々の行動変容の可能性を探っている。

### アピールポイント

都市住宅学会賞論文賞受賞、地理情報システム学会評議員、県内の複数の自治体の審議委員会の委員、県立農林水産総合センター、県内の複数のJAとの共同研究などを実施し、実際の業務改善などにもつながっている事例もある。

### 応用分野

防災・防犯

農業水利施設の管理・営農情報の提供・営農作業の効率化

施設や地域資源の効率的運用の検討・地域での意思決定支援